

鉄砲洲神社素読論語 解説

(平成 24 年 6 月 8 日)

【八】顔淵 死す。子曰く、噫、天 予を喪せり。天 予を喪せりと。

顔淵が 41 歳で亡くなりました。孔子が言うには、天が私を滅ぼしたのだと。後継者を滅するというのは、天は私をこの世にはもう必要がない人間だという烙印を押したようなもので、顔淵が死んだという事は、私が生きて使命を果たすのは、いらないと天が通告したようなものだから、天が私を滅ぼしたのだと嘆き悲しんでいる。

【九】顔淵 死す。子 之を哭して慟す。従者曰く、子 慟せりと。曰く、慟すること有りしか。夫の人の為に慟するに非ずして、誰が為にかせんと。

顔淵が死んでお見舞いにいったが、孔子は嘆き崩れて悲しんでいるので、従者が「先生が慟哭された」と言ったので、孔子は「顔淵が死んだ時に泣き崩れないで、一体誰の為に泣き崩れるのだろうか」他の人間が亡くなってもここまで泣き崩れることはない。

ここは、自分が顔淵を後継者と目していたので悲痛の余り、礼儀を超えて泣き崩れてしまった。

これに似た感じでは、子路が殺され敵に切り刻まれ甕に塩辛としていれられた。その時にも同じような嘆き方をした。でも顔淵の方がより深い悲嘆をあらわしていると思います。

周りを見渡して自分の両親、家族、友人または後継者が亡くなった時に、自分自身の周りでこれほど泣き崩れる事があるかなと考え、中々ここまで泣き崩れるのは見ないなという感じがします。

【一〇】顔淵 死す。門人 厚く之を葬らんと欲す。子曰く、不可なりと。門人 厚く之を葬る。子曰く、回や 予を視ること、猶 父のごとくす。予 視ること猶 子のごとくするを得ず。我に非ざるなり。夫の二三子なりと。

顔淵が死んで門人が手厚く葬らなければと思って、先生に「手厚く葬ります」と言ったら、孔子は「それはならん」と答えた。そう先生は答えたけれども門人は、本音では先生は手厚く葬りたいのだろうと思って手厚く葬った。孔子がこれに怒って言うには、顔回が私を見る時には、父親のような眼差してみている、そのように敬ってくれていた。私は、顔回を子供のようにしてやれなかった。(孔子の息子の鯉の時には、道に従って分に応じた質素で心のかもったお葬式を出した) 二三子といのは、お弟子さん達。弟子達が、錯覚をして手厚く葬るのは私の真意ではない。勝手に私の真意を誤解して、手厚く葬った弟子達は、けしからん連中だと言っています。

葬式の際に、喪主の意志を錯覚して手厚く葬ったり簡単にしたりというのは、今の世の中でもあるのではと感じます。